

証明書について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2021年3月11日）

証明書について2つ要望を致します。

すぐに対応してほしいという要望ではなく、証明書発行システムの改修やリース更新のタイミングなどで仕様を策定・変更するときの検討事項のひとつに入れてほしいと考えています。

1つ目です。

和文証明書で複数ページにわたる証明書(私の場合は学業成績証明書)を発行すると1ページ目に押印がなされません。所属の人間健康教務掛に問い合わせたところ、日本では複数ページにわたる証明書は2ページ目から押印する文化であることを知りました。しかし、海外大学院出願の際に、英文だけでなく原文(和文)の証明書を求める大学が多く、全ページに押印されていることを条件として明記している大学が特に欧州では多かったです。そのため、教務掛にお願いして手作業で1ページ目に押印していただきましたが、何度か依頼をすることになりお手数をおかけしました。

自動証明書発行の際に全ページに押印する仕様になっていれば日本でも海外でも通用すると思います。

2つ目です。

「正課・カリキュラム」の「ILAS セミナーの学業成績証明書における表記方法(投稿日2019年7月26日)」の要望とほぼ同じです。私は ILAS Seminar-E2 を3つ修得しており、学業成績証明書には副題なしの“ILAS Seminar-E2”が3つ並んでいて何を勉強したのか証明書を見ても把握できません。また、出願時に提出すべき資料は厳密に決まっているので、シラバスを補足資料として添付する(2019年のご回答より)のは私の出願先では現実的ではありませんでした。

2019年のご回答では、「『単位未修得者クラス』等、副題の中には学業成績証明書に表示させることが適当ではないものも混在しています。」とありますが、ILAS セミナーおよび ILAS Seminar-E2 のみ副題を含めて表示する仕様にすれば問題ないと思いますので、そのようなシステム変更がいずれできれば嬉しいです。

繰り返しになりますが、以上の要望は、あくまで証明書発行システムの更新などがあるときまでの検討事項に入れていただきたいという要望です。今すぐなんとかしてほしいという無理を言っているものではないので、できるだけ検討いただけたら幸いです。

【回答】（回答日：2021年3月19日）

（回答部署：教育推進・学生支援部教務企画課、国際高等教育院）

ご意見ありがとうございます。

1つ目のご要望については、既に改修済であり、自動発行機で発行される証明書は全ページに押印する仕様になっています。

2つ目のご要望については、今後の参考とさせていただきます。